

《後援会「子育て座談会」》11月5日（土）7時から

後援会での子育て支援の取り組みとして、毎年11月に、就学に向けての『子育て座談会』が行われます。今年は11月5日（土）に持つこととなりました。後援会の先輩のお母さんお父さんから直に話を聞くことで、『見通しのもてない事が少し持てるようになり、準備できて良かった』と参加された保護者の方から声をいただいています。始めた当初はゆりさんだけに呼びかけていましたが、ばらさんの保護者の方からぜひ参加したいという声があがり、それからは、ゆりさん、ばらさんにお誘いさせて頂いています。ぜひご参加ください。

#### 《おいもほり》

10月20日に桂川の河川敷の畑においもほりに行きました。程良い畑の土のかたさで、子ども達は楽しそうに掘っていました。土の中からおいもの姿が顔をのぞかせると「オイモデテキタ！」と嬉しそうでした。ゆりさん、ばらさんは自分で掘り起こしたおいもに「ホレタァ～」と達成感ある顔でした。さくらさんは、はじめて園芸用のスコップをお家から用意してもらい、それもうれしい様子でした。すみれさんは大きなシャベルでおいもが見えるようにしてもらおうと、「オイモヤ！」やる気満々で掘り「ミテ！」と笑顔です。

収穫する大変さ、喜びに心を動かした子ども達の姿に、私達だけではこんな経験をさせる事は出来ません。子ども達の為に、協力して下さる方々の力をお借りして私たちの保育が行える事に喜び、感謝する一日でもありました。

#### 《収穫感謝礼拝》11月21日（月）

この日は、園では収穫感謝の礼拝を守ります。私たちを見守り育てて下さる神様。その恵みに感謝したいと思います。どうかこの日には子どもたちに何か一つ野菜か果物を持たせてあげてください。

みんなが持ち寄ってくれた野菜や果物を前にして感謝の礼拝を捧げたいと思います。

また、幼児組では持ち寄った野菜などでのクッキング保育を11月22日に計画しています。くわしい持物などについてはグループだよりをご覧ください。

#### 「収穫感謝祭」の始まり

1620年の秋イギリスから新天地を求め100名を超える人々がまだ未開の地であったアメリカに渡りました。自由に神様を讃美し礼拝のできる地を求めやって来たのです。しかしその冬は厳しい寒さでした。そんな苦しみの中でも希望を失わず、「神様は必ず助けて下さる。私たちを守って下さる。」と祈りを捧げ続けました。やがて先住民であるインディアンの人々とも少しずつ交わりを持つことができるようになりました。春になってインディアンの人々から分けもらった種をまきました。一生懸命世話をして秋になりました。おかげでたくさん作物を収穫することができました。刈り入れたばかりの作物を並べて、インディアンの人達と一緒に神様に感謝の祈りを捧げ礼拝を守りました。

#### 《いっしょにあそぼうの日》

『いっしょにあそぼうの日』は園のあそびをお家の人に知ってもらい、子どもと一緒に経験してもらう事で子どもの心の動きを感じて頂き園の子どもにあそび（生活）を身近に感じて頂く事を大切に取り組みせて頂いています。行事を積み重ねていく中で、11月の時期での取り組みにさせて頂く事で、『うんどうあそびの日』からのつながりや、あそびの途中経過を一緒にあそんで頂く事で知って頂けると考えています。また、その後のあそびの展開も、お家の方と一緒に見守り共感していける保育が出来るようにしていきたいと思っています。

## いっしょにあそぼうの日

11月21日（土） はじまりの時間9時～おわりの時間11時30分～12時